

呼びかけ文「日米同盟の深化」はいらない

## 沖縄・辺野古に基地を押し付けるな4・16集会

震災救援に乗じて、4月末を軸にした日米外務・防衛相会談で、滑走路の形をV字型にするなど基地建設の具体的な計画を大きく進めようとしています。また公有水面の埋め立て許可を沖縄県知事に強要しようとしています。私たちはこうしたことに強く反対します。この集会を基点にみんなで大きな声を上げ阻止していきましょう。

やっぱり「抑止力」は、ユクシ(うそ)だった

2月12日、鳩山前首相は、沖縄地方2紙のインタビューで、普天間代替施設の辺野古回帰の理由として挙げた「抑止力」を維持するためということ、「方便」であったことを明らかにしました。これによって、沖縄の海兵隊が「抑止力」に役立っていないこと、辺野古への移設を決めた昨年5・28日米合意が、うそに基づいた全く根拠のないものだったことが明らかになりました。沖縄ではこの鳩山方便発言によって、更に大きな憤激を呼び起こしています。菅政権は、何の根拠もない5・28日米合意を直ちに撤回すべきです。

### メア沖縄差別発言を許すな！メア発言はアメリカの傲慢な植民地主義の表れだ

3月6日報道によれば、ケビン・メア米 국무省 日本部長(当時)は、昨年12月、沖縄は「ごまかしとゆすりの名人」「怠惰でゴーヤも栽培できない」などと甚だしく沖縄を侮辱し差別した発言をしていたことが判明しました。

このような占領者意識丸出しの差別発言は到底許すことは出来ません。沖縄では直ちに23市町村議会で抗議決議が可決されました。メア氏は、沖縄総領事当時から問題発言を繰り返し、その都度抗議が行われてきたが、これはメア氏個人の問題でなく、メア氏のような人物を 국무省の対日政策の中心部署に配置する米政府の政策全般に貫かれた植民地主義に根ざしたものであり、そうであるが故に、沖縄の民意を無視して基地をいつまでも押し付けることが出来るのです。

こともあろうか、この沖縄差別発言を取り繕うかのように、更迭されたメア前 국무省 日本部長を大震災の日米間の調整担当に充て、史上空前の大災害に乗じて、在日米軍は「トモダチ作戦」と称して、第七艦隊、沖縄海兵隊などを「災害救助」に出動させました。「災害救助」に名を借りて在日米軍の存在意義をアピールしようとも、辺野古に新たな基地を作ることによって、更に沖縄の人々に負担と犠牲を強いようとする日本政府、米国政府の姿勢、本音に変わりはありません。

### たび重なる閣僚の沖縄訪問 基地の強要は民主主義の破壊

この間沖縄では、菅首相をはじめ、主要な閣僚が何度も訪問し、アメとムチの卑劣な方法で強力な圧力をかけて「説得」の名の下に基地受け入れの強要を行っています。地元の自治体が民主的手続きで決めたことを国の圧力でつぶすことは民主主義の破壊であり、異常な事態です。

また名護市に対しては、米軍基地を受け入れないからと、米軍再編交付金を不支給として兵糧攻めの暴挙を行っています。更に防衛省・沖縄防衛局は、環境アセスメント法をないがしろにする現況調査を名護市が拒否したことに対して、行政不服審査法に基づく異議申し立てを行うという更なる暴挙を行いました。

また辺野古新基地と一体で運用が計画されている北部訓練場がある東村・高江でもヘリパットの建設が強行されています。

### 日米同盟の深化は基地の押し付け、沖縄差別だ

沖縄は戦後一貫して米軍基地が押し付けられてきた。沖縄返還の際には基地の自由使用、核持ち込みの密約まで交わしてより一層米軍基地が集中するようになりました。しかし、自分たちがいやなものを沖縄に押し付ける、これが差別でなくてなんでしょうか。

このような政府の沖縄差別を許してきたのは、沖縄の原状に対する「本土」日本人の無自覚、無関心などが原因の一つです。沖縄への基地の集中は、日本人一人ひとりに大きな責任があります。

数々の失態で崩壊の瀬戸際に追い込まれていた菅民主党政権は、「大震災」を契機とした「拳国一致」のムードの中で、4月末を軸に日米安保協議委員会(2+2)を開催し、昨年5月28日の「日米共同声明」を再確認し、辺野古基地建設へ情勢を大きく進めようとしています。そして、菅首相自身も訪米し、オバマ大統領と会談、「日米同盟の深化」を謳い上げ、アメリカに忠実な日本の姿を世界中に晒そうとしているのです。

基地を押し付ける「日米同盟の深化」は要りません。沖縄の闘いと連帯し、辺野古への新基地建設をやめさせる、高江にヘリパット基地をつくらせない、という大きな声をあげていきましょう。多くの皆さんが「4・16集会」に参加されることを強く訴えます。(2011年3月27日)

### 主催：辺野古への基地建設を許さない実行委員会

4・16集会に参加・賛同します 賛同金【個人1000円・団体3000円】

名前(団体名)

所属・役職・職業等

連絡先

電話・E-mail

一言メッセージ

名前(団体名)公表【可・否】